

新春特集

**2016.1
No.145**

あきた建築士会ニュース



一般社団法人 秋田県建築士会

大曲ヒカリオ



(写真提供:大曲通町地区市街地再開発組合)



大曲ヒカリオは、大曲通町地区第一種市街地再開発事業区域の愛称として公募により決定したものです。

本愛称は、花火が上空ではじけ、光の尾が広がる様子をイメージしており、中心から外に広がっていく姿を、当地区から活性化の輪が広がっていく様子に重ねたものです。



【大曲ヒカリオ】大仙市大曲通町地内

JR大曲駅前で行われていた「大曲通町地区第一種市街地再開発事業」が、平成27年9月に完了し、同年11月にグランドオープンしました。

本再開発事業は、駅前にある総合病院の老朽化に伴う移転改築工事や大型商業施設の閉店による中心市街地の空洞化を阻止するため、平成23年度より工事が進められていました。

同再開発エリアは、北街区(商業施設跡地)と南街区(病院跡地)に分けられていて、北街区には、バスターミナル、病院、ショートステイ、商業施設が配置され、南街区には、保育施設、市健康増進センター、コミュニティFM、商工会議所、駐車場が配置されています。愛称は「大曲ヒカリオ」で、南北両街区の総事業費は、約164億円です。

「医療」「福祉」「交通」「情報発信」等を集積し、安全・安心に暮らせる町づくりと、中心市街地の賑わいづくりを目的としたこの事業の今後が注目されています。

仙北支部(仙北建築士会)青年委員長 草薙 渉

目次

新年を迎えて	新年のごあいさつ……………(一社)秋田県建築士会会長 湯 沢 隆 市…2
	年頭のごあいさつ……………秋田県建設部長 石 黒 互…3
	年頭所感……………秋田県建設部建築住宅課長 小 玉 嘉 裕…4
建築士大会	第40回 秋田県建築士会大会 能代山本大会……………5
	主催者あいさつ……………6
	青年委員長あいさつ……………7
	歓迎の挨拶……………8
	能代山本大会の総評……………9
	基調講演……………10
	第1部 演題「どうする!スギ」……………10
	第2部 演題「地域資源を活用した協働と連携のまちづくり」……………10
	平成27年度 現場(建物)見学会の概要……………11
投稿だより	国指定名勝おくのほそ道の風景地「象潟」……………14
	ヘリテージマネージャー大会の参加報告……………16
	増田重伝建地区内の建造物修理工事の概要……………22
ホームページ紹介	……………24
事務局だより	建築士に対する定期講習のお知らせ……………25
会務報告	……………26
支部だより	……………28
誌上年賀	……………32
編集後記	……………42
表紙の紹介	……………42

新年のごあいさつ



(一社) 秋田県建築士会会長 湯 沢 隆 市

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、新たな気持ちで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、建築関係において、建築物の設計・工事監理の業務の適正化や建築主等への情報開示の充実など、一層の消費者保護等を盛り込んだ改正建築士法が施行された一方で、施行後、杭のデータ偽装が発覚しました。工事監理や施工分野で主任技術者、監理技術者として活躍されている方も多いと思いますが、これを他山の石とするため、今後、建築士として、何が足りなかったのか、今後何をなすべきか再度考える必要があると感じました。

また、社会面で気になった事として、日本創生会議が提案した「高齢者の地方移住」があります。一部では雇用が拡大され、好ましく受け止められているところもあるようですが、なぜ、若者や子育て世代ではなく高齢者なのか。一番経済的に負担の掛かる、高校や大学・専門学校等を卒業するまでは地方で担い、卒業後、負担が少ない(ない)退職までは大都市が担い、その後はまた地方が世話をする。私からみると、全てが大都市の論理(都合)で動いており、地方のことが蔑ろにされているように見受けられ、残念なことと思っています。

さて、ご承知の方もいらっしゃるかと思いますが、昨年12月15日に開催された理事会において、本年4月1日から事務局を(一財)秋田県建築住宅センターへ移し、事務局業務を委託することが承認されました。新たな担当者等詳細については、今後、改めてお知らせいたします。また、各地区の建築士会の総会等を通じ、皆様には私から直接ご説明いたしますが、今回事務局を移管した主な理由は「固定経費の節減」、「新たな事業展開を可能にするための

体制作り」そして「危機管理対応」の三点です。

一点目の「固定経費の節減」については、現在、60歳以上の正会員が4割を超え、50歳以上でみると7割を超えています。今後一層「会員の高齢化に伴う会員の減少(会費の減少)」が予測され、これにできる限り対応するためには、固定経費の節減が必要と判断しました。

二点目の「新たな事業展開を可能にするための体制作り」については、今後、会員の減少に歯止めをかけ、あるいは、新会員の加入を促すためには、新たな事業展開が必要と考えます。現在の二人体制では、今後実施できる事業に限りがあることから、柔軟に事業展開ができる体制づくりが必要と判断しました。

三点目は、「危機管理対応」です。病気や不慮の事故等のため1人体制となった場合、業務に支障をきたすことが十分考えられます。これを防ぐためには、長期休暇や欠員が生じた場合でもスムーズな業務の執行が必要と判断しました。

今後共、建築士会の活動も含め見直すべきことは、早めに見直していくことが必要と思っています。

また、建築士会の活性化には、皆様の気持ちや考えを反映させることが必要と思っています。どうか、建築士会の活動全般に関しご意見をお寄せくださるようよろしくお願いいたします。

結びに、今後共、県民に信頼される建築士会を目指し、頑張っていきたいと思いますので、引き続き会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、益々のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



秋田県建設部長 石 黒 亙

新年あけましておめでとうございます。

秋田県建築士会会員の皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、本県建設行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県では、人口減少の克服や地域資源を活かした秋田ならではの地方創生の実現に向けて、昨年10月に「あきた未来総合戦略」を策定し、移住・定住の促進、成長分野である航空機産業やエネルギー関連産業の育成等に重点的に取り組んでいます。都市政策や住環境整備、道路等のインフラ整備の側面から建設行政の果たす役割も大きいと考えています。

都市政策や住環境整備については、中心市街地の活性化やコンパクトシティの形成、空き家対策など、人口減少に対応した取組が一層重要になってきています。

昨年10月には、県も支援を行ってきた大仙市大曲通町地区の市街地再開発事業が完了し、医療・福祉施設、バスターミナル等からなる新たな生活・交流拠点が誕生しましたが、この地区を核とした新たな人の流れが生まれるとともに、近接地区での宅地開発等が進むなど、様々な事業効果が発現してきており、今後は、定住人口の拡大などにつながり、地方都市のモデルとなっていくことを期待しています。

また、多くの方々にご利用いただいている「住宅リフォーム事業」については、社会情勢の変化を踏まえた見直しを行ってきていますが、「あきた未来総合戦略」の施策の中に、少子化対策や空き家の活用策として子育て世帯に対する住宅リフォーム支援を行うことを位置づけており、今後も住宅ストックの効果的な活用を推進してまいります。

道路整備については、昨年10月に日沿道「象潟～

金浦」間が開通しましたが、観光振興や物流効率化による産業振興等の面からみて、高速道路は全線がつながってこそ一層効果が発揮されるものであり、引き続き早期の全線開通に向け取り組んでまいります。

港湾整備については、秋田港のコンテナ取扱量は高水準を維持しており、国際コンテナターミナルの拡張など、国際物流拠点として産業振興に貢献しているほか、県内港湾では、洋上風力発電や石炭火力発電が計画され、エネルギー拠点としても県政発展の起爆剤になることから、計画推進に必要な環境整備等を推進してまいります。

また、インフラのマネジメント強化も大きな課題であり、各施設の耐震化や長寿命化を計画的に進めるとともに、市町村と連携し生活排水処理施設の集約・再編を行うなど、効率的かつ効果的なインフラの更新・維持管理に取り組んでまいります。

いずれにしましても、人口減少を踏まえ、本県が将来にわたり成長していくためには、住民生活や経済活動の基盤となる社会資本ストックの早期の効果発現や有効活用が不可欠であり、本年も、住環境や都市基盤の整備、高速道路整備や港湾の機能強化、防災・減災対策の推進などに積極的に取り組んでまいります。

結びに、秋田県建築士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

年頭所感



秋田県建設部建築住宅課長 小玉 嘉裕

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様には日頃から建築住宅行政やまちづくり行政の推進にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

また、建築士としての資質向上のための日々の研鑽と建築文化の発展に寄与してこられたことに心から敬意を表します。

あきた未来総合戦略

昨年は地方創生元年ということで、県では「産業振興による仕事づくり」、「移住・定住対策」、「少子化対策」、「新たな地域社会の形成」の4つを基本目標とした「あきた未来総合戦略」を作成しました。

貴会の湯沢会長が建築住宅課長時代に企画したりフォーム推進事業は、たいへん好評で昨年度までの5年間に補助額が80億円にのぼりその経済波及効果は約2,000億円と推定されて県経済の一部を支えています。この事業に子育て世帯のライフステージに応じた子供と暮らしやすい居住環境を整備するための支援策を加えることとなります。この事業もこれまで屋根・外壁の塗装や張り替えが半数以上で、まだまだ修繕の域を脱していないし、人口が停滞し減少する時代は、新築を拒むものではないがストックの活用が歴史的にも常套な施策であり当分は継続していく事業になります。

基礎ぐい工事問題

昨年10月に発覚した杭工事データ流用事件は、またもや建築業界への信頼を失墜させた残念な事件であった。データ流用の案件は県内でも数件あり、その建物の安全性の確認を急いでいるところである。同じ建築に携わる人間として、データ改ざんがあったとしても現場の杭が間違いのない施工であることを信じていたい。10年前には耐震偽装事件が起り、貴会会長が当課指導班長としてその対応に走り回っていたことが思い出される。

新たな文化施設の整備にむけて

新しい年を迎え、県と秋田市連携の文化施設の整備がいよいよスタートする。現県民会館と秋田市文化会館を集約するもので、約200億円とみられる事業費の財源として「公共施設最適化事業債」と住宅局が所管する「暮らし・にぎわい再生事業」の社会資本整備総合交付金を充てる方針である。

28年度は、設計者選定プロポーザル、その後2ヶ年で設計をまとめて31年の着工、34年の開館を目指しているところです。県と市の関係事業課のほかに皆様を交えたワークショップの機会を設け、1世紀は使うであろう新文化施設に地元建築士の提案を積極的に盛り込んでいきたいと考えている。

6年後の平成34年といえば、建築士会全国大会が秋田で開催される年でもあり、この大会が新しい文化施設の「柿落とし」にと願っているところです。新文化施設の開館と皆様が一丸となって取り組む「あきた大会」の成功を一県民として見守りたいと思っています。

建築技術の歴史も社会も、歴史はいつも過度期で変わらない時代はないが、時代というそのような中にあっても皆様の資質向上に向けた弛まない姿勢だけは変わらないでほしいと願って新年のあいさつとさせていただきます。



第40回 秋田県建築士会大会 能代山本大会

テーマ 「木都能代の可能性」～ 木と建築から見える未来のかたち ～

日 程：平成27年11月14日(土)
 会 場：湯らくの宿のしろ
 主 催：一般社団法人秋田県建築士会
 共 催：一般社団法人秋田県建築士会青年委員会
 主 管：能代山本建築士会(秋田県建築士会能代支部)



大会スケジュール

14:00～14:30 式 典

1. 開会の言葉
2. 会長挨拶 一般社団法人秋田県建築士会 会長 湯沢 隆市
3. 青年委員長挨拶 一般社団法人秋田県建築士会青年委員長 工藤 博臣
4. 来賓紹介
5. 来賓挨拶 能代市長 齊藤 滋宣 様
 秋田県議会議員 薄井 司 様
 山本地域振興局長 菊子正稔様 代理 建築課長 伊藤 和博 様
6. 閉会

14:45～15:45 基調講演 第1部 演題「どうする！スギ」

○ 林 知行 氏 (秋田県立大学 木材高度加工研究所 所長/教授)

16:00～17:00 基調講演 第2部 演題「地域資源を活用した協働と連携のまちづくり」

○ 渡辺 千明 氏 (秋田県立大学 木材高度加工研究所 准教授)

18:30～ 交流会

1. 開会の言葉
2. 歓迎の挨拶
3. 来賓紹介
4. 来賓挨拶
5. 乾杯
6. 余興
7. 大会旗伝達
8. 決意表明
9. 万歳三唱
10. 閉会の言葉



主催者あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会 会長 湯沢 隆市

第40回一般社団法人秋田県建築士会大会能代山本大会の開催に当たり、一言あいさつ申し上げます。

本日ここに、秋田県議会議員薄井様、高橋様、佐藤様、齊藤能代市長様、県外から東北各県の青年委員長様を始め、ご来賓の皆様にはご多用のところご出席いただき、厚く御礼申し上げます。また、会員の皆様には日頃より建築士会の各種事業の推進に当たり、多大なご理解ご協力をいただいておりますことに対し、心より感謝申し上げます。

さて、従来「青年大会」から通算し、本大会は40年目の節目の大会です。これまでの歴代の青年委員長をはじめ、この大会を運営して来られました皆様に御礼申し上げます。今後も継続して開催していきたいと考えていますが、社会状況の変化や組織の現状・今後の見通しを検証し、物事を変えていくことも、組織の継続・発展には必要なことと考えています。「青年大会」から「建築士会大会」変更して2年目ですが、本大会に限らず、建築士会の組織や活動内容についても、変えていくべきことは数多くあるのではないかと考えています。どうか、皆様には、忌憚のないご意見をお寄せいただくとともに、今後共、当士会の運営にご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

今年度の大会テーマは、「木都能代の可能性～木と建築から見える未来のかたち～」です。皆様ご承知のとおり、能代市は能代湊という良港に加え、後背地からの天然秋田杉の集積する街として、大正から戦前にかけては東洋一の木都でした。その後昭和30年代には張天の生産量は全国の8割程度を占めていた歴史があります。しかしながら、能代に限らず、本県の木材産業の現状は皆様ご存知の通りであり、木材の利用拡大は、木材産業界のみならず我々建築士にとっても、重要なテーマであります。

本日は、木材高度加工研究所の林所長様、渡辺准教授様にご講演いただきます。お二方には、ご多用のところ講師をお引き受けいただき、大変ありがとうございます。林所長様からは「どうする！ スギ」と題し、渡辺准教授様からは「地域資源を活用した協働と連携のまちづくり」と題し、「木材県」の建築士として今後の活動を考える上で、時宜を得た、貴重なお話が伺えるものと思っています。

結びに、本大会の開催に当たり準備を進めていただきました能代山本建築士会、青年委員会の皆様をはじめ、ご支援いただいた方々に御礼を申し上げますとともに、会員が一堂に会する機会は定時総会と本大会のみです。皆様には、本大会での建築士としての知識の習得とともに、この機会を通じ一層の交流が図っていただくようお願い申し上げます。



青年委員長あいさつ

一般社団法人 秋田県建築士会 青年委員長 工藤 博臣

本日は、第40回一般社団法人秋田県建築士会大会能代山本大会の開催にあたり、ご列席頂きましたご来賓の皆様、東北ブロック各県の青年委員長、ならびに県内建築士の皆様には、ご多用のところ多数ご参加頂きまして心より御礼申し上げます。

今大会で第40回を数える大会ですが、この間社会的・経済的環境は大きく変化してまいりました。

青年委員会発足とともに、会員交流としてのスポーツ大会・意見交換会から、青年大会、昨年からは建築士会の大会として生まれ変わりました。

40年という重みは、形式・手続きなどの事務的、外形的なものから、事業手法や考え方に至るまで、さまざまなものに現れます。

今日までの歩みの土台を作って下さった諸先輩方に感謝しながら、更なる土台を築くスタートとしていきたいと決意新たにしていける所存です。

さて、今大会のテーマが「木都能代の可能性～木と建築から見える未来のかたち～」であります。

明治からの新産業の風を受け、国内はもとより海外にまで広げ東洋一とまで称せられた能代であり、木材関連の施設や製品も多く木材の研究も盛んなこの地で、この度ご講演を頂きます秋田県立大学 木材高度加工研究所の林様、渡辺様には感謝を申し上げます。

これまでの木造建築は「地産地消」のもと、森林資源の豊かな地域で積極的につくられてきました。しかし産業で考えると課台は多くあります。現在の木造建築というと住宅が多数ですが、近年の木構造の解析技術の進歩や耐火部材開発により木造の耐火建築物が実現可能となり、今までなかったものが生まれてきます。

海外の中規模木造建築物を見ても、9m近い張り出しの構造であったり、今までの常識では計れない非常に楽しみな材料と言えます。

木を新しい素材としてとらえ木造建築の新しい可能性を探っていくことが出来ることと思われま

す。本日ご参加の皆様には、木材または建築を通して、古くからの伝統木造技術や近年の木を使ったまちづくりに至るまで大いに議論し有意義な時間となるよう祈念申し上げます。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました能代山本支部、青年委員並びにご支援いただきました関係者の皆様にご心より御礼を申し上げまして、大会にあたっての挨拶と致します。



歓迎の挨拶

能代山本建築士会 会長 熊谷 勝
(一般社団法人秋田県建築士会 能代山本支部長)

本日、ここに第40回秋田県建築士会大会能代山本大会を開催するに当たり一言歓迎の挨拶を述べさせていただきます。

齊藤能代市長をはじめとする能代山本地区のご来賓の皆様、東北各県建築士会青年委員長の皆様、また能代木材青年クラブの皆様、そして秋田県建築士会会員の皆様、本日は大変遠いところからお忙しい中をご参加いただきまして誠にありがとうございます。心から歓迎申し上げます。

能代山本地区は能代市を中心に三種町・八峰町・藤里町の4市町で構成されており人口は約83,000人おります。農業が主産業ではありますが、県立大学木材高度加工研究所が立地しているように木材関連産業が大変多いところでもございます。以前は大規模な製材工場

・張り天工場などがたくさんあり、従業員もたくさん働いていりましたが人口減少、住宅の和室の減少などにより需要が減り工場数、従業員数共減少の一途をたどり現在に至っております。

今回の大会テーマは「木都能代の可能性～木と建築から見える未来のかたち～」であります。これから木高研の林所長の「どうする！スギ」と渡辺准教授の「地域資源を活用した協働と連携のまちづくり」と題しましてのご講演をいただき わけですけど、建築士会会員のみならず能代山本地区住民といたしましても大変興味のあるお話であり期待をいたしております。地球温暖化の防止、資源の循環型社会の構築という観点から木材の利活用は、言われて久しいですがなかなか進展していないのが現状と思われまます。また、植林された秋田杉はこれから大量に伐採の時期を迎えております。鉱物資源に頼らず、CO2削減の効果のある木材の利活用は我々建築士と、いたしましても責務でもあります。

行政でもいろいろ補助制度がありますのでそれらを利用した住宅造りで社会に貢献できればと思います。又現在能代市では市庁舎の建設工事が行われております。

あすの見学会の工程にも入っておりますけど総事業費が48.6億円です。能代市といたしましてもかかってないような大事業であります。設計及び施工面で能代山本建築士会の会員が多数かかわっており当建築士会といたしましても誇りに思う次第でございます。どうぞ培われた技術を発揮されまして立派な庁舎に仕上げ能代のシンボルとして、後世に残る建物にさせていただきたいと思ひます。

最後になりますがこの会を開催されるに当たり当会の長門青年委員長をはじめとした青年委員の方々、ご協力をくださいました皆様方に心から感謝を申し上げ歓迎の挨拶といたします。



能代山本大会の総評

能代山本支部(能代山本建築士会)青年委員長 長門 雅哉

青年大会を含め、今回で40回目を数える建築士会大会が能代市で開催されました。テーマは「木都能代の可能性 ～木と建築から見える未来のかたち～」。

能代市の基幹産業である木材業界と建設業界がどのようなポテンシャルを持っており、未来に向けてどのような方向性で動いていかなければならないかを専門家の研究を知ることによっていこうというのが主旨です。

木都能代での建築士会大会と開催ということで木と建築を知る良い機会になると思い、このテーマを選択しました。建築士としても秋田県内で活動する場合、木材との関わりは非常に深く、木を知ること、木材業界を知ることには大変有意義なものとなります。大会の事業もそういった観点から、能代市にある木材高度加工研究所の先生方による講演会、能代の木材業界を象徴する建物や、議事堂の改修工事、新市庁舎建設現場を知っていただく見学会という内容を選びました。建築士会大会を通して、最新の情報や歴史あるものを知ることによって各会員の今後の秋田県に於ける建築士としての活動の一助になっていただければ幸いです。

大会全体の印象としては計画した事業が無事、滞りなく行われたことにほっと胸を撫で下ろしています。能代山本建築士会の青年委員会が企画運営したのですが、年々若手の会員数が少なくなっていく、個々の負担が大きくなっていることが不安の一つでした。そんな中、少人数ですが青年委員の皆さんの頑張りのおかげで、なんとか当日を迎えることが出来ました。

無事に大会を終えられたことに、工藤県青年委員長をはじめ、本部の事務局の方々、能代山本建築士会、特に青年委員会の皆様に感謝を申し上げたいと思います。

最後になりますが、遠方より能代山本大会にご参加いただいた建築士会の皆様どうもありがとうございました。



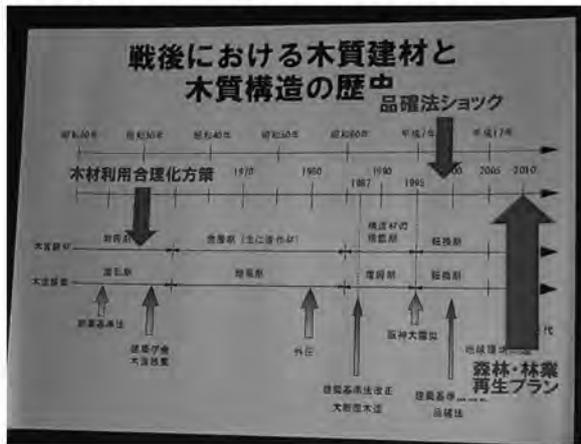
平成28年度の大会は、仙北支部が担当となります。大会旗が熊谷支部長より小田島支部長に引き継がれました。

基調講演

第1部 演題 「どうする!スギ」

講師 木材高度加工研究所 所長/教授 林 知行 氏

- ・ 耐火部材、CLT等杉を利用した新しい部材の紹介
- ・ 杉等木材に関する誤解と真相
- ・ 国内林業の現状と課題
- ・ これからの杉が持つ可能性と今後の取り組み



第2部 演題 「地域資源を活用した協働と連携のまちづくり」

講師 木材高度加工研究所 准教授 渡辺 千明 氏

- ・ 地域資源の活用と地域の特徴を有した木造住宅の紹介
- ・ 地域資源の活用と景観まちづくりの取り組み事例紹介
- ・ 震災被災地での地域産材を活用した市街地整備の提案と秋田・能代の協働について



平成27年度 現場(建物)見学会の概要

今年度の現場(建物)見学会は、平成27年11月14日(土)に能代市で開催された秋田県建築士会大会の能代山本大会に合わせて、翌日の11月15日(日)に開催されました。対象施設は、国の登録有形文化財である旧料亭「金勇」のほか、能代市の旧市議会議事堂の耐震強化工事及び新庁舎建築現場の3カ所で会員を中心に総勢45名の方が参加しました。以下にその概要を紹介します。

なお、見学中の写真は裏表紙の見開き部に掲載していますので本文と併せて御覧下さい。

1. 国登録有形文化財 旧料亭「金勇」

木都能代を代表する歴史的建造物である「金勇」は、明治23年に創業した料亭で各種宴会や会合などに幅広く使われていました。現在の建物は、二代目金谷勇助氏によって昭和12年に建て替えられたもので、木都能代の象徴とも言える秋田杉の殿堂です。

外観は、屋根の両端に入母屋造りの屋根が重なり合う豪壮な造りで、日本建築の美が凝縮された純木造建築であります。



豪壮な雰囲気を出している外観

一階中広間の天井には、今では入手出来ないと言われる長さ五間の一本の杉から採った中空天井板五枚が使用され、二階の大広間は、杢目板を四畳半に組み合わせた格天井になっています。

当時の建築、設計、材料、技術の集大成であるといわれ、平成10年10月に国の登録有形文化財として登録され、平成11年3月に能代市に寄贈されました。



一階中広間の天井



二階大広間の天井

中空(なかもく)とは、木材の木目のバリエーションの一種で、板の中央部分が板目で両端部分が柃目で構成されたもので、和室の天井板に用いられることが多い木目柄です。

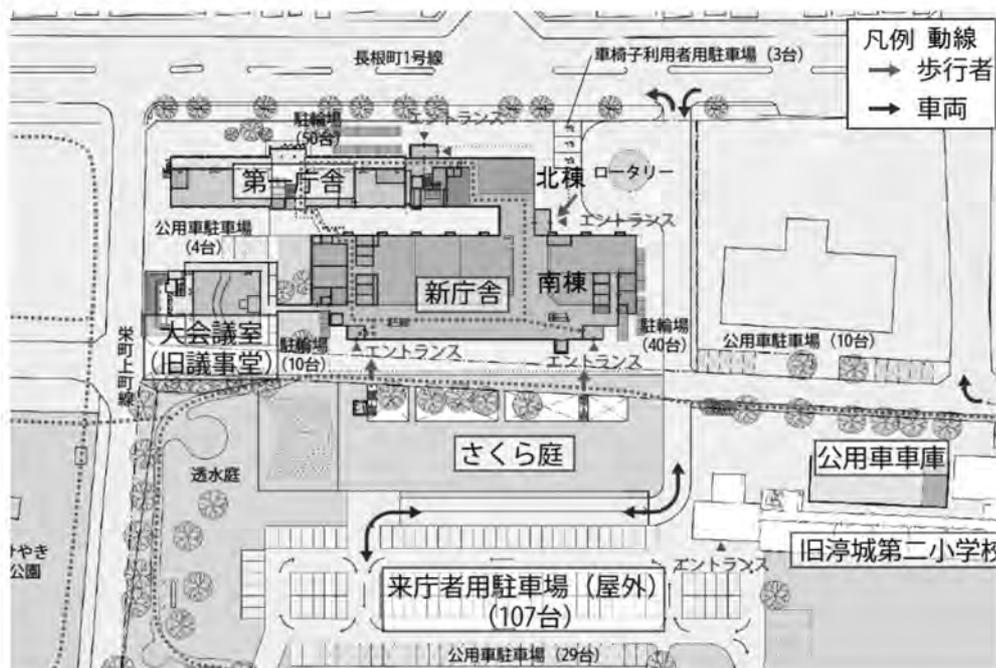
2. 能代市旧議会議事堂・耐震強化工事

■ 旧議事堂の沿革

能代市旧議事堂は、昭和24年大火によって消失した官庁街の復興事業の一環で建築され、昭和25年完成している。本建物の設計者は不詳とされているが、設計図作成は当時の市職員によってなされている。第一庁舎との調和を考慮してか、西側立面形状は当初の切妻屋根形状から2度の変更が加えられ、最終的にパラペットを持つモダンな形状となっている。(平成19年に第一庁舎とともに登録文化財に選定されている。)

3. 能代市役所新庁舎建築工事

新庁舎は、南棟と北棟からなり、南棟は、4階建てで鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)+免震構造となっています。また、北棟は地下1階・地上3階建てで鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)であります。総延床面積は、7,065㎡で、内訳は、B1F・駐車場階111㎡、1F床面積2,008㎡、2F2,165㎡、3F2,070㎡、4F711㎡となっています。また、第一駐車場は、鉄筋コンクリート造の平屋建てで、床面積は1,250㎡であります。



能代市役所新庁舎建築工事平面図

新庁舎の施工業者については、建築主体工事が大森・中田・大高特定建設工事JVで請負金額が約23億円となっています。また、電気設備工事は能代電設・石井電気・赤塚電気特定建設工事JVで約2.5億万円、空気調和設備工事は協立・柴田ボイラ特定建設工事JVで約2.5億円で、これらの工期は来年の6月30日となっています。

また、第一駐車場(さくら庭)建築主体は、成田建設が約2.0億万円です。請け負っています。(工期は今年の11月30日まで)



新庁舎の建築主体工事の様子

国指定名勝おくのほそ道の風景地「象潟」

由利支部(由利建築士会) 周防 敦子

平成27年11月15日に由利建築士会女性委員会で、「地元を再発見しよう!」ということで、にかほ市象潟九十九島、蚶満寺を訪れました。

あいにくの雨のなかの見学でしたが、『奥の細道』で有名な松尾芭蕉も「象潟や雨に西施がねぶの花」「松島は笑ふがごとく、象潟は恨むがごとし」と詠んでいて、320年以上前に訪れた時も雨だったようです。

象潟は2500年前に鳥海山が大きく崩れ、海に流れ込んだ岩の固まり(ながれ山)が大小百数十の島になり、一帯は入り江でした。島々には樹木が茂り、松島と並ぶ景勝地として有名で多く人を魅了してきました。

1804年の地震により地面が隆起し、今は島の名残を残すのみです。しかしこれだけの地面の隆起ですので、その時の地震は相当なものだったのだろう感じることができます。



【松尾芭蕉の銅像】



【九十九島風景】



【2500年前の埋もれ木】

にかほ市の象潟郷土資料館の敷地に直径約1.4m、長さ約10mのケヤキの巨木が置かれている。2,500年前の鳥海山の山体崩壊による岩なだれに巻き込まれた埋もれ木である。

2014年秋から2015年春にかけて、同市の日本海沿岸自動車道のインターチェンジ建設工事現場で見つかったもので、土中に突き刺さった状態で発見された。

蚶満寺は、853年に慈覚大師によって創建された古刹。境内は古木に囲まれ、静かで落ち着いた空間です。また蚶満寺七不思議といわれる「夜泣きの椿」「木登り地蔵」も見所です。山門はにかほ市の指定有形文化財になっており、木造瓦葺屋根で閑院宮家の御祈願所になっていることから、菊の紋章が入った瓦が使用されています。

今回の見学では、地元の自然環境・震災の歴史を学び直す良い機会となりました。



【蚶満寺山門】



【蚶満寺招き猫】



【山門より旧参道を望む】



【奥の細道屏風】

ヘリテージマネージャー大会の参加報告

横手支部 千葉 和廣



1. はじめに

平成27年3月に秋田県ヘリテージマネージャーに認定された私たちは、今後の活動に役立てるため平成27年10月29日～31日にかけて全国ヘリテージマネージャーネットワーク(HMN)協議会の総会と全国ヘリテージマネージャー大会に参加するため、第58回建築士会全国大会が開催されている石川県金沢市を訪問した。以下に、その概要を報告する。

10月29日朝6時半過ぎ横手市を出発、4つの県境を越えて石川県金沢市へ。17時より開始される第4回HMN協議会総会が開催される同市民芸術村へと到着。時刻は15時40分。この敷地内には、金沢職人大学校という施設があり、各地から総会に出席するHMの方々と共に、総会前の時間を施設の視察に当てた。



金沢市民芸術村

金沢市は、藩政期には加賀百万石と称された前田家の城下町として栄え、金沢城と兼六園を中心に、長町武家屋敷郡、伝統的建造物群保存地区の主計町茶屋町と東山ひがし茶屋町などを有する地である。歴史的建造物の多く残る街として、それらの保存・修理を受け持つ職人技術が必要とされるが、建築の近代化や機械化、後継者不足などの要因によって、人材確保と技術継承が難しい状況にある。



金沢職人大学校外観

そうした背景から、金沢市が平成8年にこの学校を設置した。この学校の大きな特徴として、入学対象者は職歴10年以上などの中堅クラスの技能を持ち、各業種組合の推薦を受けた者であるため、一般的な職業訓練校とは異なっている。本科と修復専攻科があり、それぞれ3年間のカリキュラムを有し、本科修了者が修復専攻科へと進むことができる。学費は無料であり、石工・瓦・左官・造園・大工・畳・建具・板金・表具の9科が置かれている。



金沢職人大学校視察の様子

黒いガルバ外壁の建物の中に入ると、玄関で上記9科の技術を現したレリーフパネルに迎えられ、その両脇には土壁の模型を見て取れる。施設内は大空間の作業場があり、右手2階に講習室、左手には各科の実習室となっている。講習室にてこの施設の概要を聞き、その後各実習室を視察した。

職人技術の向上の方式もさりながら、行政や各業種が本気で職人を「育成」といった断固たる意思を感じ、そこに強い感動を覚えた。例として、親方は繁忙期にも係わらず、週1回の講習を受けさせ、職人は高い熱意で技術を学んでいることや、謡曲・茶道を教養として職人に学ばせていること、子供マイスタースクールといった市民参加型の事業を行っていることなどである。

しかしながら、金沢は京都奈良と比べると仕事量は少なく、折角の技術をすぐに生かす機会が少ないという悩みもあるという。最近では町家再生の流れから、こうした需要を満たす期待もあり、1期生が講師として後輩を教えるというサイクルも出来上がっている。



金沢職人大学校内部

2. 全国ヘリテージマネージャーネットワーク(HMN)協議会総会(10月29日)

参加者 鈴木博実、黒田 稔 高荒宏一 北嶋清美 千葉和廣 奥 圭司 (6名)

17時。敷地内のパフォーミングスクエアという円柱状の建物へと移動。総会にオブザーバーとして出席し、各支部の事業報告を聴く。

北海道地区は今年度まで2回のHM養成講座を実施し、フォローアップ講座も実施。

東北は宮城・福島で3回実施。秋田は活動ネットワーク発足に向けて準備中。

関東では埼玉・東京以外の5県で実施、神奈川と千葉は最多の6回。中部甲信越は山梨を除いて6県で実施。静岡は6回の講座と2回のステップアップ講座を開催している。

北陸関西は、京都の文化財マネージャーを含めれば全地域で実施。HMの先駆けである兵庫は13回の講座を重ね修了者は353名にのぼる。

中国四国は山口・香川・徳島を除く6県で実施。九州沖縄では、沖縄以外で実施済み。また、建築士九州ブロック会で結ばれた被災調査活動の協定書について報告があった。

HMNの設置状況については、本年発足した茨城・石川・和歌山・高知・福岡を含めて22(うち団体組織2つ)を数えている。こうしたネットワー

クが各地区にくまなく設置されれば、前述した九州のように、広域災害によって被災した歴史的建造物の調査・復旧支援において連携協定を結ぶことも期待できる。

歴史的建造物の保全活用において、国家戦略特区における「歴史的建造物委員会」の設置を行うこと、委員会の設置による建築審査会の同意をもって建築基準法の適用除外を受けるという方策を学



HMN協議会総会の様子



オブザーバー席

ぶ。岡山県では、県指定文化財の旧吹屋小学校の資料館への用途変更に係わる基準法の適用除外を受けたという事例もあり、その件についての報告が行われた。成功した事例ではあるが、審査費用の確保といった課題もあるという。

日本建築学会との係わりについては、今年8月、日本建築士会連合会との間に、平常時・災害発生時の調査連携、歴史的建築総目録データベースの情報共有などの協定が結ばれた。データベース利用については、HMの地域ネットワークがあることが前提となっている。

以上が報告であり、続いて協議が行われた。

HMの他の研修について、ある地域のHMが、他県のHM登録を受けたい場合に、その他県の指定する講座を受講すれば、全ての講座を受けなくても登録資格を与えられることが承認された。また、会誌『建築士』に歴史的建造物集積地区を紹介する記事を連続掲載することが議題となり、歴史街づくり活動などが行われている地区をHMNがピックアップし、毎号2地区を掲載することが承認された。

その他今後の活動においては、メーリングリストの積極的活用、歴史まちづくり法におけるHMの関与の検討、HMの設計監理を文化庁の主任技術者の指導業務と同等に行うことを目指すこと、職人団体との連携強化を図ることなどが議題に上がり、今回は大分で開催されることを宣言して閉幕した。



オブザーバー参加した鈴石氏が本県の状況を報告

3. 全国ヘリテージマネージャー(HM)大会席 (10月30日)

参加者 照井郁人、鈴石博実、黒田 稔、高荒宏一、北嶋清美、千葉和廣、奥 圭司、根田克利

建築士会の全国大会が行われる、金沢駅東口左手にある石川県音楽堂へ。正面右手には巨大な音叉のモニュメントが立ち、左手には「建築士会全国大会」の看板がある。各地の建築士会員がその看板を背に、写真を撮り合っていた。もちろん我々まちなみ研究会も同様である。



金沢駅「もてなしドーム」と「鼓門」



全国大会の式典会場となった石川県音楽堂

10時。地下にあるホールにて、第3回全国ヘリテージマネージャー大会に出席する。5つの事例について、報告が始められた。



ヘリテージマネージャー大会に参加した8人のメンバー



第3回全国ヘリテージマネージャー大会の様子

①石川県

金沢職人大学校による伝統建築の保全(武藤清秀氏)

昨日の総会前に見学した、職人の伝統技術育成施設についてである。概要は前述したとおりだが、その実績についての報告があった。文化財建造物の住宅の修理や調査を、卒業制作として行ったこと、LLP金澤町家というNPOを立ち上げ、町家の改修の相談と修復専攻科を終了した修復士による調査・設計・施工を行い、現在までに12件の工事が完了したことを発表した。

修復専攻科



定員:40名程度
学費:無料

②石川県

能登半島沖地震時の建築士と職人の連携(小林吉則氏)

2007年3月26日にM6.9の地震が発生、輪島市は大きな被害を受けた。旧市街地の古い住宅と土蔵が倒壊したところもあり、被災直後に応急処置と復旧の調査が行われた。住宅は修復の公的補助があるが、土蔵については解体撤去の支援しかない。また、大工・左官の労力が足りず、土蔵は失われる可能性が高くなった。



輪島の塗り技術、酒造りなどの文化に土蔵が寄与してきた部分は大きく、土蔵の修復は地場産業の復興と新たな街の魅力づくりに活かせるのではとの思いから、NPO法人を結成、関西から左官職人を呼んでセミナーを開始。ボランティアを中心とした調査活動によって、輪島の土蔵の弱点と被害の原因を知り、それから施工方法の検討が行われた。

伝統工法による修復、コスト面を重視した真壁工法、レンガによる修復案が提示され、実際の修復活動が行われた。下地作りなど、ほとんどがボランティアの手によるもので、コストを削減し、それでいながら従来よりも強度を上げる方法を模索した。土蔵の修復を通じて、持続的なメンテナンス、コンサートなど土蔵の積極的な活用を行い、「蔵のまち」として魅力をつなげようとする事例を発表した。

③宮崎県

職人塾の開催(松下宏氏)

建築士会の会員の減少により、活動資金が不足しているという現状があった。文化庁の「文化芸術振興費補助金」を活用して、文化遺産による地域活性化事業を行った例を挙げた。延岡市の歴史的建造物に関して、パンフレットやマップを作成した情報発信、シンポジウムやモニターツアーの開催、「職人塾」というシリーズ講演会の開催を紹介した。「職人塾」は建築士・HM・市民を対象にして、大工・塗装・建具・表具・瓦の職人を講師にした講義であり、実技体験形式で行われた。

延岡は発生が危惧されている「南海トラフ巨大地震」の被害エリアにあり、歴史的建造物が被災することが予想されているため、工学院大学・後藤治教授の編集書『被災歴史的建造物の調査・復旧方法の対応マニュアル』の講演会を開き、その手法を学んだ。

④神奈川県

職人によるHM講座の実施(池田誠之氏)

神奈川県湘南地域(相模湾沿岸)は、古くから御用地・別荘地としての需要があり、近代和風建築が多く残るなど、邸園文化(邸宅+庭園)が栄えていた。その邸園文化を地域活性に取り入れるため、文化祭や保全活用推進員養成講座を企画し、それにあわせてHM講座を実施した。講座は60時間の建築士向けのもの、30時間の県民向けの実施しカリキュラムの中には職人が講師を務めるものも置かれた。

平成25年には、県有の遊休施設であった明月荘が大雪による倒木で被災、HMの神奈川まちづくり塾がその建物を修繕する事業に携わる。屋根の修繕から始まり、緑地管理、側溝の手入れなどを行い、市民参加型のイベントの実施とその収入による修繕費用の確保などに当たった。持続的な保全活動の課題としては、防火対策が挙げられた。

⑤静岡県

職人組合との協定書の締結(塩見寛氏)

今年9月17日、大工・左官・瓦の職人組合と、静岡県建築士会の4者間で「歴史的建造物の維持・保全・活用に関する協定」が結ばれた。全国初の試みであり、平時と非常時における情報の共有、連絡網や被災調査・応急処置のフローなど、協力体制を明確に取り決めるものであった。

実務組織として、静岡県ヘリテージセンター(SHEC)を設置し、建物所有者からの相談・調査依頼に

1. 文化遺産に関する総合的な情報発信事業

- ① 地域にある文化遺産を総合的に発信するため、パンフレットとマップを作成した。
- ② 歴史的建造物としてのパンフレット作成
宮田については、延岡市内各地域に存在する神社・寺・山門の内、地域のバランスも考慮しながら、29点を選んで作成した。その範囲となる市内神社一覧表も作成し添付した。(作成部数 500部)
- ③ 神社・山門・山門・御所のマップ作成
神社については、パンフレットにある(神社一覧表)に基づいて、寺院や山門については、延岡市で代表社名を登録し作成した。(作成部数 2,000部)
- ④ 延岡地区・土蔵等のマップ作成
延岡市内にある築50年以上経過している古民家・蔵・洋館・商業施設等の代表的名ものを登録し、作成した。(作成部数 2,000部)
- ⑤ 上記の各冊子については、駅・バスセンター・公共施設・大型複合施設・観光協会・ホテルや旅館・各地域等に積極的に配布した。
- ⑥ 各冊子については、神社や寺院の管理者や公民館にも配布した。



対して、職人で組織されるプロジェクトチームを速やかに結成したり、地震災害時の赤紙(危険度C)が歴史的建造物に貼られた場合、解体撤去の前に修理修復を検討できるようにSHECへの連絡票を貼るなど、具体的な活動方式を説明した。

この協定のきっかけは、建築士会が「県内にどのような職人がどのくらいいるのか」ということを調査したのが始まりだという。関係維持として、各職人組合は静岡県HM大会に参加することが前提となっている。

その手法には各地の特色が出ているが、HMと職人とは不断の関係だということに、共通した意識がある。

後藤先生は、「建築士は確認を通し、HMは適用除外、建物の価値の維持向上を目指すべき」と言っておられたが、出席したHMからは、建築士のみが保存を訴えるのではなかなか市民の理解が進まないため、市民にもHM講座を受けてもらうことで、知識と理解を広められるのでは、という意見や、敷地区画整理などについては関与ができないため、そうしたアプローチができないかなど、大会の予定時間一杯まで白熱した意見交換が行われた。

HMの大会においては、各地域に残る歴史的建造物を保存活用することが、地域活性と文化継承に大きく寄与するという

点が、全ての地域で共通の意識となっていることである。そこには職人に対する敬意を感じ、ともに学びともに育つという精神を見てとれた。

この大会を通じて、建築士として学び、HMの認定を受けてきたことに誇りを感じる事ができた。それほど価値がこの金沢にはある。建築に携わるものは、一度はここを訪れることを強く勧めたい。横手から590km車で9時間をかけてもその価値はあると思う。



事例発表した5人の代表者



主計町茶屋街



東山ひがし茶屋街

増田重伝建地区内の建造物修理工事の概要

横手支部(横手建築士会) 千葉 和廣

増田重伝建地区は、南北約420m、東西約350m(約10.2ha)であり、南北に伸びる街道沿いに「中町・七日町」、東西の街道沿いに「本町」がある。今回私が担当した当該修理事物は、この本町に位置している。敷地条件は南入りで通りに面する主屋は、調剤薬局を営業している。主屋の北に明治初期の建造である内蔵、さらにその奥に「外蔵」が配置されている。

修理計画は、現在洋風の外観である主屋店舗の外観復原と外蔵の板張り鞆の張替が主な事業である。主屋の現況については、玄関は切妻入りで、屋根は横長尺と平葺きのトタン葺き、東側の外壁はモルタル仕上、西側の外壁は角波トタン張りで開口部はアルミサッシが用いられていた。

主屋の修理計画においては、古写真より、屋根は寄棟、下屋庇に木製建具、2階部分には雨戸と高欄、小壁は白漆喰仕上のファサードが確認できたため、正面はその復原とし、東側と西側の壁は下見板張りと押縁、小壁に白漆喰への改修が主な方針である。



薬局正面・改修前



薬局正面・改修後

外蔵の鞆については、現況は豎板目板押えがなされていたが、板が風雨によって劣化しており、特に下部は切妻の屋根からの雨落ちによって痛みが激しく、波トタンで養生している状況であった。損傷の激しい部分は張替をし、木部はオイルペイントで仕上するという計画である。

まずは、主屋の解体を行いながら、痕跡調査を行った。容易に壁内部を確認できる西側外壁より始まり、1階及び2階の天井裏の状況を確認した。主屋前面の一部は、昭和50年代に改修された部分があり、小屋裏部分には古い痕跡が見つかったため、小屋組の架構の検討を行った。

主屋において最も留意した点は、下で店舗を通常営業しながら、屋根を改修しなければならないことであり、解体と組立をほぼ同時に行う工程を組んだ。幸い、施工時は好天に恵まれたが、改修に応じた養生方法の検討も、設計計画時から必要であると感じた。

小屋組や梁桁などの構造部材の加工は、軒先が完全に外部に表しとなる部分も出るため、仕口継手を熟慮し、また化粧垂木や野地板の材質管理も、外観を損なわないように配慮した。

木部の色彩については、増田町は濃茶と黒が基本色であるが、当該物件については屋根に黒を使用する方針から、木部についても黒を採用した。ただしこれは純粋な黒ではなく、1対1の比で黒と濃茶を混ぜたものを使用した。

屋外に置かれるエアコンの室外機などは、機能を妨げずに外観に配慮するため、格子状の囲いを

かけ、各種配線やカバーなども黒のものとした。

修理事業は4ヶ月の期間を要して完了し、引渡しを行った。完了後の外観は、屋根と木部の黒が小壁の白さを一層引立たせ、中町から本町へ曲がったときに、切妻が多い建物の中にある寄棟が、ひとつのアクセントを出していると思う。

改修工事において、解体時に下地の痛みが激しい部分は、やはり雨水等が浸入した部分であり、あるいは雨落ちから壁がぬれやすい箇所である。豪雪地帯では、冬の雪で雨どいが破損しやすいため、冬場は軒どいを外したり、そもそも雨どいを取り付けないところもある。

増田は隣家と軒が近く、冬場は屋根の雪がくっついたり、夏場は湿気だまりとなったりする。地面に雨水用の側溝を設けているところもあるが、水はけは管理状態に左右されやすい。もう一つ言えば、そうした外壁の板張りの保護を目的として、上にトタンを張るという対処がなされたことも、地域の生活の歴史として忘れてはならないと思う。



薬局西側・改修前



薬局西側・改修後

増田の重伝建地区における建物の修理においては、設計者はヘリテージマネージャー修了者に限られるという条件が付されている。ヘリテージマネージャーの意義は、歴史的建造物の保存と、その活用を行うことで、その地域の文化継承に寄与することにあると思う。それは設計者であると同時に、歴史への理解と職人技術への敬意を持つという点で、そうした制約は理解できると思う。

また、修理事業は外観の復原とともに、建物を使用または所有する方にとって、価値の向上と利便性に配慮がなされるべきであると思う。外観に木部が多くなれば、そのメンテナンスはより重要であり、豪雪地帯ではなおさらである。所有者の努力は前提であるが、それを後押しするシステムや、設計時点での配慮も課題であるかと思う。寒さ対策、雪下ろしや除雪なども、地域性として考えていかねばならない。当然、予算といった問題もある。

方法は一つではない。所有者と行政・設計者・施工者が密なコミュニケーションを取っていかねば、何のための事業かわからなくなる。

増田に生まれ、住み働くものの一人として、街並の変化はもちろん、人々の意識も少しずつ変わってきたのかな、と思っている。少子高齢化で人口は減少し、寂れるだけだと思っていた街が、先人の遺産をもう一度見つめなおしたことで、次代への光が差してきたように思える。それが本当の大きな光りとなるための手助けができれば本望である。



横手支部
新青年部部長
齋藤 智裕

建築士会に入会して5年程経ったでしょうか。

思い起こせば、県外の建築系の学校を卒業し、仙台と郡山の設計事務所に10年勤めて地元に戻って来ました。家業の建築資材販売店に入社し、設計事務所を開設し今に至ります。

建築士会にお誘いいただき入会しましたが、同業の方と知り合え、刺激を受けております。今では青年部長を仰せつかり、微力ながら活動しております。

青年部とはいえ、若い会員が少ないのが悩みです。ご紹介いただければ勧誘に伺いますので、よろしく申し上げます。



秋田中央支部
稲嶋 朋美

一昨年まで5年ほど神奈川県にて設計のお仕事に携わっておりました。

建築で地元で貢献したい・現場の経験を積みたいと考え、現在は設計・現場管理のお仕事に携わっております。

建築士会の活動を通じて、様々な方とコミュニケーションを取って行きたいです。

趣味はスポーツ観戦で、特に『秋田ノーザンハピネッツ』応援にハマっています。

まだまだ未熟者ですが、宜しくお願い致します。



秋田中央支部
池田 宇史

この度、入会をいたしました池田宇史（たかし）と申します。

住宅建築の設計・現場管理に従事しております。

建築士会の活動理解を深めると同時に、会を通じた諸先輩方との交流から、自らも高めていければと思っております。

今後、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

建築士に対する 定期講習のお知らせ

平成20年11月28日施行の改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内ごとに受講しなければなりません。

建築士事務所に所属する方で、平成24年度に建築士定期講習を修了した方及び平成24年度以前に建築士試験に合格し建築士として登録した方でまだ受講していない方は、平成27年度中に当該建築士定期講習を受講しなければなりません。

今回は平成27年度の第4回目の講習（最後）になりますので是非受講をお勧めします。

第4回定期講習（1E-04）

と き：平成28年3月10日(木)

ところ：秋田市文化会館

募集期間：平成27年11月5日から平成28年2月29日

登録講習機関 公益財団法人 建築技術教育普及センター

受付機関 (一社)秋田県建築士会 本部事務局

受講申込書を希望する方は各支部、本部まで電話かFAXで連絡をお願いします。

電話 018-863-6348 FAX 018-888-1733

平成27年 8 月～平成27年12月

- 8 月 5 日 ●第 2 回秋田県木造住宅生産体制強化推進協議会へ、湯沢会長出席。
於：ルポールみずほ
- 7 日 ●平成27年度第 1 回総務委員会開催。
於：建築士会 本部 会議室
出席者 小田島委員長 外12名
議題
1. 今年度の委員会の事業計画と役割分担について
2. その他
- 7 日 ●平成27年度第 1 回事業委員会開催。
於：建築士会 本部 会議室
出席者 田仲委員長 外10名
議題
1. 今年度の委員会の事業計画と役割分担について。
2. その他
- 20日 ●三役・委員長会議開催。
於：アキタパークホテル
出席者 湯沢会長 外 5 名
議題
1. 本会の運営について
2. その他
- 25日 ●平成27年二級建築士学科試験合格発表。
合格者 25名
- 26日 ●第 3 回秋田県木造住宅等地域材利用拡大事業推進協議会へ、湯沢会長出席。
於：ホテルメトロポリタン秋田
- 28日 ●平成27年度事務局職員研修会開催。
- 9 月 9 日 ●平成27年一級建築士学科試験合格発表。
合格者 14名
- 13日 ●平成27年二級建築士設計製図試験開催。
於：秋田県生涯学習センター
受験者 59名
- 17日 ●平成27年度第 2 回青年委員会開催。
於：建築士会 本部 会議室
出席者 工藤委員長 外10名
議題
1. 秋田県建築士大会について
2. その他
- 17日 ●第 3 回秋田県地域材利用モデル住宅提案審査委員会へ、戸嶋女性委員長出席。
於：ホテルメトロポリタン秋田
- 28日 ●第 4 回秋田県木造住宅等地域材利用拡大事業推進協議会へ、湯沢会長出席。
於：ホテルメトロポリタン秋田
- 29日 ●平成27年度第 3 回理事会開催。
於：ホテルメトロポリタン秋田
出席者 湯沢会長 外24名
議題
1. 各委員会の事業計画と役割分

		担について			1. 事務局移行の件について
		2. その他			2. その他
10月	2日	●一級・二級・木造建築士定期講習開催。 於：北秋田市交流センター 受講者 34名		26～27日	●連合会東北ブロック会事務職員会議へ、小野局長、大高事務職員が出席。 於：札幌市 全日空ホテル
	5日	●第29回秋田の住宅コンクール審査会へ、戸嶋女性委員長出席。 於：秋田ビューホテル	12月	3日	●平成27年二級・木造建築士合格発表。 合格者 二級16名 木造0名
	11日	●平成27年一級・木造建築士設計製図試験開催。 於：秋田県JAビル 受験者 一級23名 木造1名		4日	●平成27年度上期会計監査開催。 於：建築士会 本部 会議室 出席者 湯沢会長 外6名 議題 1. 平成27年度上期会計状況 2. その他
	17日	●第29回秋田の住宅コンクール表彰状授与式へ、村上副会長出席。 於：秋田市にぎわい交流館 展示ホール		15日	●平成27年度第4回理事会開催。 於：ホテルメトロポリタン秋田 出席者 湯沢会長 外21名 議題 1. 平成27年度上期会計状況 2. その他
	23日	●第3回秋田県地域材利用住宅優良事例選定委員会へ、湯沢会長出席。 於：ホテルメトロポリタン秋田		17日	●平成27年一級建築士合格発表。 合格者 8名
	29日	●連合会第17回定例理事会（士会長合同会議）へ、湯沢会長出席。 於：ANAクラウンプラザホテル 金沢		17～18日	●連合会平成27年度第2回東北ブロック会長会議へ、湯沢会長、小野事務局 於：札幌市 JRタワーホテル日航札幌
	30日	●連合会第58回建築士会全国大会（石川大会）開催。 参加者 64名		25日	●ホームページプロジェクトチーム会議開催 於：建築士会 本部 会議室 出席者 安達真由美 外5名
11月	2日	●一級・二級・木造建築士定期講習開催。 於：大仙市大曲交流センター 受講者 116名			
	14日	●秋田県建築士会大会能代大会開催。			
	15日	●現場見学会開催。 於：能代市			
	25日	●第2回三役・委員長会議開催。 於：建築士会 本部 会議室 出席者 湯沢会長 外6名 議題			

平成27年 8月～平成27年11月

支部だより

○鹿角支部

- 8月19日 大湯温泉地区観光拠点施設整備設計プロ
ポザールで委託候補者に決定した隈研吾
氏の講演会に参加
「大湯温泉地区観光拠点施設整備とまち
づくりについて」
(於：ホテル鹿角) 参加者 6名
- 9月12日 かつの元気フェスタ準備
(於：鹿角スポーツセンター) 参加者 9名
- 9月13日 かつの元気フェスタ参加協賛
(於：鹿角スポーツセンター) 参加者 8名



かつの元気フェ
スタ模擬上棟式
建家



かつの元気フェ
スタ木工作業を
手伝う会員

- 10月30日 全国大会（石川大会）式典に参加
参加者 7名
- 31日 金沢ひがし茶屋街・兼六園・金沢城公
園・鈴木大拙館（谷口吉生設計）・長町
武家屋敷跡・金沢21世紀美術館（SANA
A設計）など見学
- 11月1日 近江町市場など見学、帰省後反省会

- 11月14日 第40回秋田県建築士大会（能代山本大
会）に参加
第1部講演「どうする！スギ」
林 知行 木材高度加工研究所長
第2部講演「地域資源を活用した協働と
連携のまちづくり」
渡辺千明 木材高度加工研究所准教授
(於：湯らくの宿 のしろ) 参加者 7名
- 11月15日 27年度建物見学会
「旧料亭金勇、旧能代市議事堂現場、能
代市新庁舎現場」 参加者 2名

○北秋支部

- 8月28日 事務所協会合同商品説明会とビール会
於 プラザ杉の子
出席36人
- 10月2日 建築士定期講習会
於 北秋田市交流センター
出席 鳥潟
- 10月30日 第58回建築士会全国大会
「石川大会」出席
於 石川県立音楽堂
出席10人

○能代山本支部

- ・ 8 / 17(月) 青年委員会 5名出席
場所 いし川
時間 午後7時00分
- ・ 9 / 14(月) 青年委員会 4名出席
場所 粹
時間 午後7時00分
- ・ 9 / 18(金) 理事会 8名出席
場所 プラザ都

- 時間 午後6時00分
- ・10/5(月) 青年委員会 5名出席
場所 でん吉
時間 午後7時00分
 - ・10/23(金) 青年委員会 5名出席
場所 わが家
時間 午後7時00分
 - ・11/5(木) 青年委員会 6名出席
場所 いたうや
時間 午後7時00分
 - ・11/6(金) 理事会 10名出席
場所 中田建設
時間 午後1時30分
 - ・11/14(土) 秋田県建築士大会 18名出席
場所 湯らくの宿能代
時間 午後2時00分
 - ・11/15(日) 現場見学会 18名出席
場所 旧料亭金勇 旧能代市議会議事堂 新市庁舎建築工事現場
時間 午前9時30分

○秋田中央支部

- 8月27日 青年部会 住宅新築リフォーム講座
(於 伊藤工業(株)会議室)
 - 29日 女性部会 第2回学習会
(於 由利本荘市)
 - 青年部会 親子体験学習「気持ちのいい家作ろう」
 - 意見交換会
 - 矢島まちなみ見学会
 - 9月1日 青年部会 秋田中央建築士会青年部会交流会
(於 ルポールみずほ)
 - 5日 女性部会 東北ブロック会
宮城県復興状況視察
 - 17日 青年部会 県青年委員会参加
 - 29日 ひびき編集委員会 第1回委員会
(於 アキタパークホテル)
1. ひびき37号の編集方針について
 2. 予算について
 3. 役割分担について

4. 各部会の対応について
 5. 今後のスケジュールについて
 6. その他
- 10月10日 女性部会 第3回学習会
(於 サンパル秋田)
デインプルアートの制作
講師 加賀谷妙子氏
 - 10月30、31日 事業委員会 第58回建築士会全国大会
「石川大会」 (於 石川県金沢市)
 - 11月14日 青年部会 第40回秋田県建築士会「能代山本大会」 (於 能代市)
テーマ「木都能代の可能性 木と建築から見える未来の形」
 - 15日 青年部会 地域実践活動
タウト来秋80周年イベント (於 秋田市西部市民サービスセンター)
渡幸郎調査結果発表
 - 12月8日 理事会 第3回理事会
(於 アキタパークホテル)
秋田中央建築士会事務所移転について
 - 10日 ひびき編集委員会 ひびき37号発行
 - 12日 女性部会 第4回学習会
優良建物見学会
「特別養護老人ホームこもれびの杜」見学(大曲)
「山人」見学及び宿泊(岩手県西和賀町)

○由利支部

- 10月24日 ●建築相談会、木工教室 於 カダレー
- ～25日 ・市民祭りでの建築相談会、木工教室





10月30日 ●全国大会（石川大会）及び視察研修
於 石川県金沢市 他

～11月1日 ・全国大会に合わせ金沢周辺視察

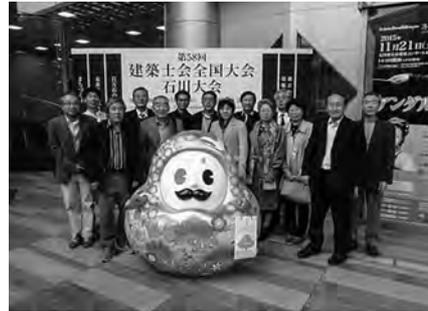
11月15日 ●第1回女性委員会
於 にかほ市ねむの丘
・県女性委員会についての報告
・平成27年度女性委員会だより作成について
・その他 意見交換後蚶満寺見学

○仙北支部

10月24日 平成27年度 大仙市秋の稔りフェアに参

加
～25日 青年委員会が協力し行う
「木製貯金箱の製作」と「ヒバの香袋の作成」

歴史的建造物の紹介等
10月30日 平成27年度建築士会全国大会 石川大会
～11月1日 仙北建築士会より15名参加



11月2日 建築士定期講習会 県南地区開催手伝い
3名補助

11月14日 第40回（一社）秋田県建築士会能代山本大会
仙北建築士会より12名参加

～15日 見学会 仙北建築士会より7名参加

11月19日 平成27年度第2回常任理事会、理事会
（於：大曲職業訓練センター）

1. 講習会及び新年会について
2. 会費納入状況
3. 秋の稔りフェア事業報告
4. その他

○横手支部

第4回理事会

平成27年8月19日 PM2:00～
サンサン横手 出席者15名

1) 会務報告

（県本部）

- ・平成27年8月7日 第1回総務委員会報告、事業計画
- ・平成27年8月7日 第1回事業委員会報告、事業計画

（支部）

- ・建築士法改正に伴う所属建築士の登録
- ・東北電力より断熱・気密施行技術講習会の協力

2) 議題

- ① 横手建築士会会則について
- ② 研修会について

③ 横手市建築士会会則について

④ その他

第5回理事会

10月21日(水) PM1:30~
サンサン横手にて 参加者16名

1. 会務報告(県本部)

・平成27年9月29日 第3回理事会報告

2. 会務報告(支部)

・東北電力より断熱・気密施行技術講習会報告
(10・7)

3. 議題

- ① 講習会について
- ② 28年度横手建築士会総会について

○湯沢雄勝支部

◇建築アカデミー「断熱・気密施工技術講習会」

日時 10月7日(水) 13:30~

場所 横手市

主催 東北電力

協力 横手・湯沢雄勝建築士会

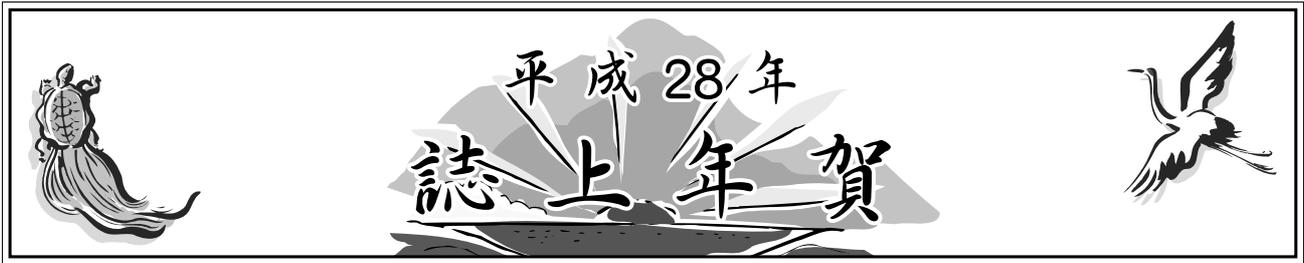
◇第40回(一社)秋田県建築士会能代山本大会

日時 11月14日(土) 13:00~

場所 湯らくの宿 のしろ

参加者 5名





迎春

2016

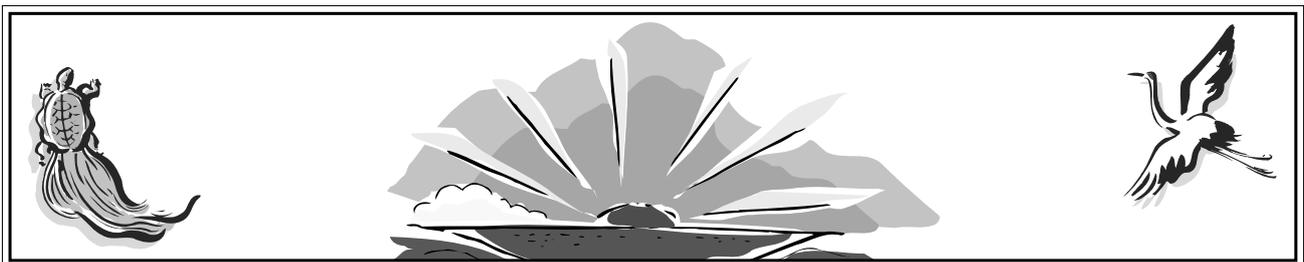
一般社団法人 秋田県建築士会

〒010-0951 秋田市山王1-7-3
 TEL 018-863-6348
 FAX 018-888-1733

新春を迎え平素のご厚情
 を深謝し、皆様のご健康
 とご多幸をお祈り申し上
 げます。



会 長	湯 沢 隆 市	理 事	赤 川 孝 則
副 会 長	林 康 彦		正 木 和 美
	村 上 文 男		小 田 島 誠 人
	熊 谷 勝 次		照 井 郁 人
専務理事	淡 路 孝 次		菊 池 泰 美
常務理事	柳 沢 富美男		今 康 博
	田 仲 雅 美	青年委員長	工 藤 博 臣
	高 久 和 彦	同副委員長	加 納 大 輔
	尾 玉 和 安	女性委員長	戸 嶋 真 紀 子
	石 川 成 一	同副委員長	伊 藤 加 久 子
	鳥 潟 宏 一	監 事	早 山 政 美
	大 高 勇 則		中 西 純 悦
	石 川 忠 則		河 辺 実 実



謹賀新年

平成28年元旦

鹿角建築士会

住所 〒018-5334 鹿角市十和田毛馬内字森崎17-1 十和田建築設計事務所内
TEL 0186-30-3500 FAX 0186-30-3600

顧問 相談 会副 会総 理 監	問役 長 副 理 事 事 事	阿柳 柳 神 戸 高 安 戸 阿 田	部部 沢 田 館 屋 保 館 部 中	秀正 富美 幸康 廣 康悦 志教	一男 憲博 美尊 博博 郎雄	和森 大 中 小 金 黒 岩	田昇 森 西 純 正 館 澤 沢 根	寛治 悦 光 拓 賢 務	石川 典 男 湯 金 瀬 澤 芳 宏 夫 樹	金澤 一 美 佐 藤 重 安 則 宏
--------------------------------	----------------------------------	--	--	---------------------------------	----------------------------	----------------------------------	--	-----------------------------	--	--

謹賀新年

平成28年元旦

人が集う快適空間づくり



屋根・壁・鋳り工事
スノーガードK（流体振動板式雪庇切）
製造・責任施工

株式会社 **キムラ鋼板**

本社／鹿角市花輪字柳田20-1・fax/0186-23-2693

☎0186-22-1213

謹賀新年

平成28年元旦

設計・監理



中西建築設計事務所

主宰 中西純悦

秋田県鹿角市花輪字柴切田15-3

PHONE 0186-22-1400

FAX 0186-22-4025

謹賀新年

平成28年元旦

〒018-5334 秋田県鹿角市十和田毛馬内字森崎17-1



有限会社
十和田板金工業所
十和田建築設計事務所

代表取締役 柳 沢 友三

一級建築士 柳 沢 富美男

TEL (0186)30-3500 FAX (0186)30-3600

謹賀新年

平成28年元旦

建築・設計・施工
リフォーム・コンサル業務

株式会社 **創企画**

〒018-5334

秋田県鹿角市十和田毛馬内字押出35-3

TEL.0186-35-2470

FAX.0186-35-2733

E-mail:som99cs9@ivy.con.ne.jp

謹賀新年

平成28年元旦

理想の住まいづくり私たちがお手伝いします！



有限会社 大晋建設

注文住宅・リフォームお任せください



〒018-5336 秋田県鹿角市十和田錦木字下田面29-1
TEL 0186-35-3060 FAX 0186-35-4738
<http://www.ii-ie.net/daishin>

謹賀新年

平成28年元旦

設計監理

有限会社 阿部設計

代表取締役 阿部 秀一
管理建築士 児玉 安広

事務所 / 〒018-5201
秋田県鹿角市花輪字下夕町212-12
TEL 0186-23-7211 FAX 0186-23-7212

謹賀新年

平成28年元旦

鋼材、鉄鋼二次製品、新建材、セメント、生コン
石油製品、農業資材、食料品、米穀集荷販売

株式会社 大里恒三商店

秋田県鹿角市花輪字下花輪82
電話〔0186〕 本店(代)②1228 FAX②1224
石油部本店 高井田給油所(代)③2651 FAX②2738
一中前給油所 ③2987
市役所前給油所③5611
十和田給油所 ③52638

謹賀新年

平成28年元旦

Original Frame & Urethan Panel



ウレタン断熱のバイオニア

人と地球に
やさしい家

株式会社 田中建設

代表取締役 田中 教雄

秋田県鹿角市花輪字大川添26番地
TEL (0186) 22-0774(代)
URL: <http://www.fp-group.gr.jp/tanaka-kensetsu>
E-mail: tanaken@ink.or.jp

謹賀新年

平成28年元旦

大館・北秋田建築士会

住 所 〒017-0046 大館市清水一丁目5-4 (有)石川建築内
TEL 0186-42-2065 FAX 0186-42-1943

顧問 相談 会副 専務 常理 監	問役 長 副 理 事 事 事	福松 石 島 小 赤 高 加	原岡 川山 湯林 平田 賀谷	淳 富美 宏 一 敏 時	嗣裕 成 美男 一 男 雄 雄 代	津田 小笠 原	谷中 小笠 原	永寿 留美 子 正 雄 久	光一 寿	伊石 三	藤田 浦	和起 英 人	博德 雄 光 幸	畠山 清 武	由武 高 清 水	徹
---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------	-----------------------------	--	---------------	---------------	------------------------------	---------	---------	---------	--------------	-------------------	--------------	-------------------	---

謹賀新年

平成28年元旦

いつもそばに 地域と共に … 未来へ



株式会社 **吉田産業**

取締役支店長 松澤清美

- 大館支店 〒017-0878 大館市川口字上野85-1
TEL 0186-43-2233 FAX 0186-43-2232
 - 能代営業所 〒016-0884 能代市卸町2-7
TEL 0185-54-2602 FAX 0185-54-8458
- URL: <http://www.yoshidasangyo.co.jp/>

謹賀新年

平成28年元旦

電気設備・通信・消防施設・計装・空調・送電工事の設計施工



奥羽電気設備株式会社

代表取締役 川井隆治



REGISTERED ORGANIZATION
No. 1588-ISO9001

本社 / 秋田県大館市泉町6番22号
TEL0186(42)1870 · FAX0186(43)0024
秋田営業所 / 秋田県秋田市飯島字砂田26の9
TEL018(845)9735 · FAX018(846)8255
青森営業所 / 青森県青森市卸町22番10
TEL017(738)6793 · FAX017(738)6523
URL <http://ohwu-denki.co.jp>

謹賀新年

平成28年元旦

建設から
暮らしまで

— 人にやさしく暮らしに深く —



カクヒロ

☎017-0044 大館市御成町一丁目16番10号
支店長 荒井 義信
TEL0186-42-3041 FAX0186-49-0985
URL <http://www.kakuhiro.co.jp/>

謹賀新年

平成28年元旦

床材の決定版
環境にやさしい天然素材

床材・壁材・階段材・カウンター(JAS認定工場)

藤島木材工業株式会社

藤島林産株式会社

☎018-3301 北秋田市綴子字田中下モ31
TEL 0186(62)0390~1
FAX 0186(62)0392

謹賀新年

平成28年元旦

人のそばに、夢のそばに。



山二建設資材株式会社
大館営業所

〒017-0838
秋田県大館市山館字八幡下150
TEL 0186(42)7521
FAX 0186(42)7520
URL <http://www.yamani-ks.co.jp/>

謹賀新年

平成28年元旦

屋根・壁 人へ住まいへ…夢をカタチに!



株式会社セキノ興産
大館店

〒017-0836
秋田県大館市池内字中台300
TEL (0186) 42-7611
FAX (0186) 42-7613

謹賀新年

平成28年元旦

工事は地元の信頼できる
工務店にお任せ

〈住まいづくりに奉仕する〉



三浦木材株式会社

代表取締役 三浦 功 達

〒017-0031 大館市上代野字上代野5-1
TEL 0186-48-5811
FAX 0186-48-5814

謹賀新年

平成28年元旦

能代山本建築士会

住所 〒016-0015 能代市須田字屋布添76番地 熊谷建設(株)内
TEL 0185-54-4600 FAX 0185-55-4107

顧問 相談 会副 会理 監	問役 長 事	中松 熊大 西永 佐相	田谷 谷高 方井 藤原	福里 儀友 勇次 郎	潤三 勝勇 見博 一郎	櫻庭 長門 大塚 村藤 加	徹哉 行宣 喜	雅和 喜一	丸山 神馬 今井 廣正 浩	志秀 一	佐々 木幸 坂	政幸 誠
---------------------------	--------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------------	---------------	----------	---------------------------	---------	---------------	---------

謹賀新年

平成28年元旦



設計集団 **環** 協同組合

代表理事 佐藤 友一

〒016-0811 秋田県能代市日吉町20-25
TEL0185-55-0022・FAX0185-55-0023

謹賀新年

平成28年元旦

ISO9001認証取得



代表取締役社長 広幡 信悦

本社 〒010-0951 秋田市山王五丁目9番2号
TEL018(864)3211(代) FAX018(864)3216
能代本店 〒016-0804 能代市万町4番29号
TEL0185(54)3911(代) FAX0185(55)0226

謹賀新年

平成28年元旦

総合建設業



代表取締役 佐藤 磨

本社/秋田県能代市宇高塙65番地
TEL0185-55-3110 FAX0185-54-4713
秋田店/秋田市泉馬場6-10
TEL018-869-7330
<http://www.sannwa.co.jp>

謹賀新年

平成28年元旦

秋田中央建築士会

住所 〒010-0951 秋田市山王1-7-3 山王ウエスタンビル3F
TEL 018-866-3124 FAX 018-888-1733

顧問 相談 会副 会理 監	問役 長 事	伊高 鈴木 田石 谷赤 小鈴 花櫻	藤橋 木仲 川口 川原 木田 庭	弥智 玲雅 雅忠 滿孝 正浩 星	一郎 德子 美則 美則 明樹 順治	渡邊 土田 加藤 淡北 竹原 伊	佐久 美子 一 成	文成 孝一 青	次美 子裕 師	工藤 池	伊小 館樋	藤玉 岡渡	加久 充裕	治志 郎司 輔	三浦 貞若	伊小 館若	藤林 岡松	敦晴 恒康	朗樹 人博	植田 佐畑 山	一 英
---------------------------	--------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	--------------------	---------------	---------------	---------	----------	----------	----------	---------------	----------	----------	----------	----------	----------	---------------	--------

謹賀新年

平成28年元旦



学校法人 峰本学園

秋田建築デザイン専門学校

〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-71

TEL.018-824-0515 FAX.018-866-7028

URL <http://www.aac.ac.jp/>

E-mail kensen@sirius.ocn.ne.jp

詳しくは本校のホームページをご覧ください。

秋田建築デザイン専門学校

検索



株式会社

渡辺佐文建築設計事務所

代表取締役 池田 匠

010-0954 秋田県秋田市山王沼田町 6 - 8

TEL.018-863-8431 FAX.018-863-8432

謹賀新年

平成28年元旦

ホームページ



長尺立平葺屋根

S&W工法

通し吊子一体型の水密性に優れた縦葺工法

☎018-837-830-420



屋根・壁・太陽光発電... 創エネで未来をリード!

セキノ興産

定尺横葺屋根

柱目FLEX

“柱目”を連想させる新々なデザイン



株式会社 セキノ興産 秋田店

☎ 018-880-2323 FAX 018-880-2221

〒011-0916 秋田市飯島字穀丁大谷地 1-7

謹賀新年

平成28年元旦

金子サッシ

株式会社 KANEKO

代表取締役 田村 伸一

〒010-1617

秋田市新屋松美ガ丘東町 2 番15号

TEL(018)863-1717 FAX(018)863-9234

謹賀新年

平成28年元旦

株式会社 林工務店

代表取締役 林 明夫
専務取締役 林 徳彦
常務取締役 林 康夫

〒011-0943 秋田市土崎港南1丁目14-37
TEL 018-845-1863 FAX 018-845-6930

謹賀新年

平成28年元旦

代表取締役 足利 健



総合建設業
株式会社 足利工務店

〒019-2601
秋田市河辺和田字岡村239
電話 / 018-882-2059・ファックス / 882-2153
仙台営業所
仙台市宮城野区鶴巻2丁目3-43
TEL. 022-781-6301 FAX. 022-781-6302

謹賀新年

平成28年元旦

設計・監理 一級建築士事務所
株式会社 クリエイティブライフ



代表取締役 淡路 孝次

〒010-0802 秋田市外旭川字三後田266-1
TEL 018-868-5352 FAX 018-868-5348
E-mail creativelife@iaa.itkeeper.ne.jp

謹賀新年

平成28年元旦



株式会社 北日本建築検査機構

代表取締役 三浦 清儀

〒010-0029
秋田県秋田市榎山川口境13-7
TEL 018-884-0071
FAX 018-884-0072
E-mail info@kbo.co.jp



謹賀新年

平成28年元旦

由利建築士会

住所 〒015-0011 由利本荘市石脇字尾花沢54-133 (株)工藤設計事務所内
TEL 0184-23-3588 FAX 0184-23-3558

相談役	早川敏雄	吉野貞志	工藤次郎
会長	村上文久	高橋幸治	佐々木光夫
副会長	佐藤久孝		
専務理事	佐藤孝一		
常務理事	正木和美	村上成夫	菊地久美
理事	岡本末吉	村上部悟	佐藤吉則
監事	加賀谷山廣	阿佐藤	伊藤一彦
			藤吉則彦
			木原忠悦
			熊谷俊一

謹賀新年

平成28年元旦

MCA

株式会社 エムシーエー 建築設計

代表取締役社長 佐藤 豪

〒014-0068
秋田県大仙市大曲飯田町1-8
TEL. 0187-62-5480
FAX. 0187-66-1955

謹賀新年

平成28年元旦

有限会社 館設計

代表取締役 松塚 榮

〒014-0055
秋田県大仙市大曲あけぼの町14-25
TEL0187-63-4933 FAX0187-62-4717

謹賀新年

平成28年元旦



株式会社 長岐建築設計事務所

代表取締役 菅原文雄
専務取締役 齋藤喜義
常務取締役 草薙 涉

〒014-0062
大仙市大曲上栄町13番60号
TEL0187-62-4320 FAX0187-62-0213

謹賀新年

平成28年元旦

横手建築士会

住所 〒019-1108 横手市山内土淵字茂竹8-5 照井郁人建築設計事務所内
TEL 0182-53-2650 FAX 0182-53-3450

相談 会 副理	役員 長事	大照 藤鈴 佐根 酒岩 高吉	嶋井 石木 田井 村荒 水	輝郁 吉博 誠克	忠宏 洋太郎	男人 郎実 一利 正行 一郎	金 沢 純 治	早川 黒北 大 棚 小 鈴 高	山本 田嶋 類木 木 橋	政 一 清	政 松	美義 稔美 誠悟 道美	菊村 篠佐 高石 佐	池田 木藤 橋橋 藤	泰 留 清	美久 肇明 男忠 張	鈴木 小野 齋高 鈴	木川 寺藤 橋木	康新 運智 ルリ	悦一 悦裕 敏子	高菊 佐佐	橋地 藤藤	信宏 満 光	夫司 雄方 義	
監 事																									

賀 正

平成28年元旦

有限会社 久米一級建築設計事務所

代表取締役 久米 征子

〒013-0035
秋田県横手市平和町6番3号
TEL (0182) 32-1347
FAX (0182) 32-1319
E-mail kume2@sea.plala.or.jp

謹賀新年

平成28年元旦

株式会社 近 建築設計事務所

一級建築士事務所

代表取締役 早山 政美

〒019-0503
秋田県横手市十文字町西原一番町8番地
TEL (0182) 42-1388(代)
E-mail:konsekkel@h3.dlon.ne.jp

謹賀新年

平成28年元旦



伊藤建設工業株式会社

品質 | SO9001 認証企業
環境 | SO14000

本 社 秋田県横手市大町5番19号
TEL 0182(32)3960(代)
秋田営業所 秋田市山王六丁目1番13号
山王プレスビル3階
TEL 018 (863) 5530

謹賀新年

平成28年元旦



YOKOTE 横手建設(株)

秋田県横手市前郷二番町7-13
Phone 0182(32)1697(代)

謹賀新年

平成28年元旦

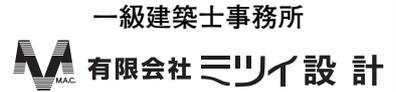
21世紀の「街・環境・明日・未来」を創造する
品質ISO9001 認証企業
環境ISO14001



本社：〒013-0036 秋田県横手市駅前町13番8号
TEL 0182(32)2680
FAX 0182(32)7500

謹賀新年

平成28年元旦



一級建築士事務所
有限会社 **ミツイ設計**
代表取締役 金沢純治

〒013-0035 秋田県横手市平和町11-5
TEL 0182-33-1011
FAX 0182-38-8848
E-mail y-mitui@wonder.ocn.ne.jp

謹賀新年

平成28年元旦

有限会社
大嶋建築設計事務所

代表取締役 大嶋輝男

横手市朝日が丘三丁目6-2
TEL 0182-33-1452
FAX 0182-33-2729
E-mail Oshima@ruby.ocm.ne.jp

謹賀新年

平成28年元旦



本社：〒013-0043
横手市安田字塚端9番地1
TEL 0182-33-0300/FAX 0182-33-0303
秋田営業所：〒010-0963
秋田市八橋大沼町1番3号
TEL 018-863-8635/FAX 018-863-8497

謹賀新年

平成28年元旦



信頼・創造
株式会社 **大和組**

秋田県横手市平和町10番30号
電話 0182-32-3434
FAX 0182-32-3499

謹賀新年

平成28年元旦

湯沢雄勝建築士会

〒012-0037 湯沢市字沖鶴194-12 シグマ企画加納設計内
TEL 0183-73-6797 FAX 0183-73-6837

相談役	佐藤清次	藤和彦	清次						
会長	高久	今康	博	山脇一樹					
副会長	清水川隆	伊藤一	高橋秀夫	佐藤重志	由利茂広				
理事	佐藤隆志	鈴木伸一	川村榮一	清水川道子					
	加納大輔	(青年部長)	佐藤全子	(女性部長)					
監事	佐藤進	山脇成吉							

編集後記

由利支部 正木 和美

編集後記の担当となり、いざパソコンに向かって
いるが何を書いているのか悩み、時間だけが過ぎて
いきます。

この原稿を書いているのが年末。いい機会なので
今年を振り返ってみようと思う。

仕事・・・年々仕事量は減っている。小さな問題
などはあったが、全体的には順調な1年だったと思
いたい。

プライベート・・・今年もあつという間の1年
だったが、充実した1年だったと思う。

建築士会活動・・・私個人としては何もしてい
なかつた。(反省せねば)ただ、建築士会全国大会
に参加するため金沢市を訪れた事はよかったと思

う。とにかく金沢市という街は秋田や東北の主要都
市とは違う活気にあふれていた。加賀百万石の歴史
都市、観光都市としての金沢を体感できたのは非常
によい経験であった。

そして、本誌が発行されるのが2016年・新春。

今年は建築士会の活動にもっと積極的に参加した
いと思う。そこで、沢山のひとと出会い、交流し、情
報や知識を得られる事が今後の自分の力になると思
いながら。

最後に、2016年が秋田県建築士会及び各建築士会
支部の益々の発展、並びに全会員様のご健勝を祈念
いたしまして編集後記を結びさせていただきます。

このような駄文を最後までお読みいただき、有難
うございます。

表紙の紹介



表表紙

能代市旧料亭「金勇」の正面入り口
平成27年11月15日に開催した現場見学会で撮影し
たスナップ写真を採用しました。



裏表紙

110畳の広さを誇る「金勇」の2階大広間
大きき畳1畳の空目板を卍状に組んだ格天井が特
徴。空目板は樹齢260年以上の天然秋田杉が用い
られています。(撮影年月日は同上)

第40回秋田県建築士大会(能代山本大会) 11月14日



大会に参加いただいた来賓の皆様と湯沢会長



渡辺准教授の講演の様子



交流会でのアトラクションの様子 (能代役セタ・流しばやし)



平成27年度秋田県建築士大会現場見学会 11月15日

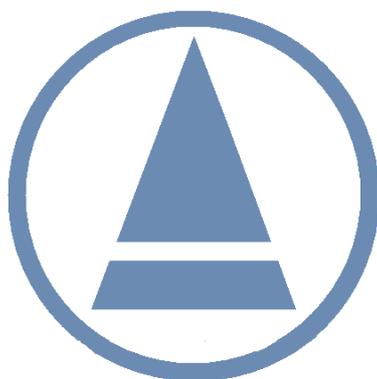


能代市議会議事堂耐震工事



能代市役所新庁舎新築工事





国登録有形文化財 能代市旧料亭「金勇」

あきた建築士会ニュースNo.145 (2016年1月号)

発行／一般社団法人秋田県建築士会 住所／〒010-0951 秋田市山王1-7-3 (山王ウエスタンビル3F) 電話／018-863-6348
編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局 発行／平成28年1月1日 印刷／秋田協同印刷株式会社